令和7年度 江戸川区立南篠崎小学校 学校関係者評価報告書(学校経営計画・学校関係者評価シート)

学校教育目標	・ よくちん 進んで学がすとも ・ 明るくぶいやりのあるすとも ・ 明るくぶいやりのあるすとも ・ まはた田たオスども	目指す生徒像	組織で動く みんなで動く人を大切にする力 自分の考えをもつ力 自分の考えを表現する力 チャレンジする力お互いが学び合える 相談し合える 互いを尊重し励まし合える教職員集団
前年度までの本校の 現状	令和5年度に実施した江戸川区教育課題推進実践校「子どもの言葉で創る算数授業の実践」を令和6年度は校内研究として引き続き取り組んだ。その成果として、担任が18人中9人異動者・初任者だったが、児童の思考を大切にした指導が行えるようになった。3学期には区の算数スタンダード公開授業も引き受け、他校の先生方にも成果を見せることができた。	数職品.	一人一人の力はあるが、共有する時間を設けることが難しく、共通理解・共通実践を行うのには不十分なところも

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」 自己(学校)評価(A~D)		「中間」 学校関係者評価(A~D)		「年度末」 自己(学校)評価(A~D)		「年度末」 学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた 改善 改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	以口木
学力向上	○国語科を中心とした 基礎学力の向上	校内研究での実践アンケートの実施												
	○教師の授業力向上・ 指導法の工夫	・アンケートの実施・授業観察・週案簿の提出	・「先生の授業はわかりやすい」「タブレット端末を使って調べる・まとめる・伝え合う授業をしている」でそれぞれ80%以上・学期に1回実施・毎週月曜日提出											
	○読書科の更なる充実	・読書科ノートの活用 ・発達段階に応じた問題を 発見し、本を通して集めた 情報を整理・分析して解決 するとともに自らの考えを まとめ・表現する学習の実 施	・「様々な本に親し み、すすんで読書を している」で80%											
体力向上	○個のめあてを明確に した授業実践	・めあてカードの実践・アンケートの実施	・「自分からすすん で体をきたえること ができる」で80% 以上											
	〇運動に親しむ機会の 実践	・なわとびカード・マラソンカード等の活用 ・学期に1回、なわとび集 会の実施	・取組カードの活用率80%以上											
	〇健康な生活	年間を通して水筒の持参の推奨暑さ指数のチェックお便りを通して連絡	・月1回給食便りと 保健便りの発行											
教育の実現に対	〇人権教育の推進	・アンケートの実施	・道徳の授業となか よし班活動はそれぞれ年3回実施 ・「誰とでも仲良く 遊んだり協力したり して仕事をすること ができる」で80% 以上											

が向が	Oエンカレッジルーム の活用促進	・エンカレッジルーム対応	・分担表を作成し実					
推けた	の活用促進	・エンカレッジルーム対応 を全教員で分担し、学校全 体で支援体制を整える	施率100%					
	○副籍交流の実施	・都立鹿本学園及び対象家 庭との交流の仕方の打ち合 わせに応じた実施	・各学期1回以上の 実施(交流方法は 各々異なる)					
不登校・いじめ対応の充実	〇不登校未然防止	・SCやSSW等の関係諸機 関との連携 ・生活指導タ会で担当や担 任からの報告	0					
	Oいじめ未然防止	・アンケートの実施 ・年3回、いじめ等に関す る道徳授業の実施	・「友達の失敗を励ますことができる」 「いじめ等があった時は先生に相談することができる」各々で80%以上					
	〇一人一台端末を用い た心の健康観猿	・L-Gate「毎日の記録」 の実施	・実施率90%以上					
学校(園)の実現地域社会に	〇学校公開、保護者 会、個人面談、運動 会、展覧会等学校行事 への参観	足を運ぶ機会の設定 ・アンケートの実施	・「日頃の教育活動 の様子などについて 保護者会や学校たよ り等でわかりやすく 伝えていると思う」 で80%以上					
	〇学校ホームページや tetoru配信の充実	・学校ホームページを定期 的に更新 ・学校便りと学年便りを1 本化してtetoru配信	・学校日記は週2回 程度更新を行う。 ・お便りのtetoru配 信は2学期から毎月 実施					
	〇学校関係者評価の充 実	・児童、保護者、評議員、 教職員へのアンケート調査 の実施	・アンケートは中間 と最終の年2回実施 ・児童と評議員、教 職員は100%実施 ・保護者は80%以 上の提出					
教育の展開	○働き方改革の推進	・年休等を取得しやすい職 場環境 ・見通しをもった仕事の実 践	〇日程度の教職員が					
	〇金管バンドや三味線 等の取組	・金管バンドや三味線の活動を通して本校の伝統文化の継承を進める ・ホームページ等で紹介	・学期に1回、学校 便りやHP等で紹介 する。					
	〇科学教育センター、 農園活動、図書ボラン ティア等と連携した教育活動の実施	・農園:低学年を中心に植物の種まき、麦の脱穀等・図書ボラ:朝の読み聞かせ、本の紹介等	域の人とから様々な ことを教わったり活 動したりしている」					